

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05020130

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7 高齢者支援の充実	事業優先度	B	
単位施策	3 社会参加の促進	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	敬老祝金支給事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	支給対象人数		#N/A	
事業目標	全対象者への支給	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 雄武町敬老祝金支給条例	
住民協働		関係個別計画名	有 雄武町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	敬老祝金を支給する。 対象者 喜寿(77歳) 20,000円 米寿(88歳) 30,000円 白寿(99歳) 50,000円 上寿(100歳) 100,000円	敬老祝金を支給する。	敬老祝金を支給する。	敬老祝金を支給する。	敬老祝金を支給する。	敬老祝金を支給する。
	事業費(千円)	14,580	3,710	2,600	2,740	2,780
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	14,580	3,710	2,600	2,740	2,780	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	6,102	3,710	2,392	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	6,102	3,710	2,392			
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	・喜寿(77歳) 20,000円×91人 ・米寿(88歳) 30,000円×43人 ・白寿(99歳) 50,000円×4人 ・上寿(100歳) 100,000円×4人 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	・喜寿(77歳) 20,000円×60人 ・米寿(88歳) 30,000円×27人 ・白寿(99歳) 50,000円×1人 ・上寿(100歳) 100,000円×3人 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	全対象者への支給	全対象者への支給	全対象者への支給	全対象者への支給
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	92%	0%	0%
		全体達成率	25%	42%	42%	42%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	敬老祝金支給事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	豊田通敏
		評価者 作成者 職氏名	社会福祉係長	内宮真希

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	高齢者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	支給対象人数		
【抱える課題やニーズは】	人口の高齢化が進み、高齢者等が健康で安心して暮らせる長寿社会づくりが望まれている。		① 支給実績	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	長年の労を労い、祝金を支給し、町民の敬老思想の高揚に繋げていく。			目標年度	平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	長寿への励みになるとともに、家族や地域住民の敬老精神の高揚を図る。		目標値	91名	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	敬老祝金の支給	支給台帳を作成し、敬老の日を基準日として、喜寿、米寿、白寿、上寿に該当する方へ祝金を支給した。	実績値	91名	
			達成度	100.0%	
			②	目標年度	平成26年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	長年に渡り地域社会へ貢献してきた高齢者を祝福し、労苦を労うことで、敬老思想の希薄化防止や高齢者の健康増進に努める意欲の向上に繋がることから必要性は高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	高齢者自らが健康増進に努める意欲の向上と各地域で敬老会を開催するなど町民の敬老思想の高揚が図られた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	敬老祝金の支給は雄武町敬老祝金支給条例及び雄武町敬老祝金支給条例施行規則に基づき実施している。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	必要条件を具備し、基準日において、該当年齢に到達する方全員に支給しているので公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
長寿を祝福することは、高齢者支援充実の観点からも必要性が高く、高齢者福祉の向上を図るうえでも、計画どおり事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
高齢者福祉向上のため、継続して行うことが適当である。祝金の支給時期については見直しを図り、喜寿・米寿は誕生月の翌月10日、白寿・上寿は当該年の誕生日を支給日とした。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止